

## 5 高齢社会の課題

### (1) ついのすみか

自分の「ついのすみか」としてどこで過ごしたいかをみると、「自宅」が75.7%と4分の3を占め、「病院などの医療施設」(6.5%)と「老人ホームなどの福祉施設」(6.1%)と「有料老人ホーム、ケア付き住宅などの高齢者向けの住まい」(2.7%)を合わせた「高齢者向け施設等(計)」が15.3%となっている。

同居形態別にみると、一人暮らしは夫婦世帯と比べ「高齢者向け施設等(計)」・「子供の家」が高く、夫婦世帯では「自宅」が大半を占め、一人暮らしより高い。

住居形態別にみると、「自宅」は持家(計)で81.5%と高く、「病院などの医療施設」や「老人ホームなどの福祉施設」は借家(計)で高い。

表5-1 ついのすみか

	総数	自宅	子供の家	兄弟姉妹 など親族 の家	有料ホーム 等の高 齢者向 けの住 まい	老人ホー ムなど の福祉 施設	病院など の医療施 設	その他	わから ない	高齢者向 け施設等 (計)
【総数】	2,203	75.7	3.3	0.5	2.7	6.1	6.5	0.5	4.7	15.3
【同居形態別】										
一人暮らし	812	62.9	5.8	1.0	3.1	9.0	9.5	0.9	7.9	21.6
夫婦世帯	1,391	83.2	1.8	0.2	2.5	4.5	4.7	0.2	2.9	11.7
【都市規模別】										
大都市	505	68.9	2.4	1.2	2.8	6.1	8.3	0.6	9.7	17.2
中都市	705	75.5	4.4	0.4	3.5	6.7	6.2	0.4	2.8	16.5
小都市	421	78.1	2.1	0.2	2.6	5.9	6.7	1.0	3.3	15.2
町 村	572	80.2	3.5	0.2	1.7	5.6	5.1	-	3.7	12.4
【性別】										
男	878	80.5	2.4	0.6	2.4	5.0	4.1	0.7	4.3	11.5
女	1,325	72.5	3.8	0.5	2.9	6.9	8.1	0.3	5.0	17.9
【年齢階級別】										
60～64歳	411	72.0	2.4	1.0	3.4	8.0	6.8	1.0	5.4	18.2
65～69歳	690	75.9	3.8	0.1	3.2	5.7	5.7	0.3	5.4	14.5
70～74歳	532	75.9	2.6	0.9	2.4	7.1	5.5	0.8	4.7	15.0
75～79歳	370	78.6	4.9	0.3	1.9	5.1	7.3	-	1.9	14.3
80歳以上	200	76.5	2.0	-	2.0	3.0	10.0	-	6.5	15.0
【健康状態別】										
良 い	563	78.2	3.2	0.5	2.7	5.5	3.7	0.7	5.5	11.9
まあ良 い	544	75.6	3.9	0.2	2.9	5.9	7.0	-	4.6	15.8
普 通	540	77.4	2.4	0.7	3.3	6.9	5.4	-	3.9	15.6
あまり良くない	451	72.5	3.5	0.7	2.0	6.2	9.5	1.1	4.4	17.7
良くない	99	66.7	4.0	-	2.0	7.1	12.1	1.0	7.1	21.2
【住居形態別】										
持家(計)	1,876	81.5	2.1	0.2	2.6	4.4	5.4	0.2	3.6	12.4
借家(計)	326	42.3	10.1	2.1	3.4	16.3	12.6	1.8	11.3	32.2
一戸建て(計)	1,902	80.1	2.4	0.3	2.7	5.0	5.6	0.2	3.6	13.4
集合住宅(計)	293	47.4	8.9	1.7	2.7	13.3	11.6	2.4	11.9	27.6

( 2 ) 差別・偏見

世間の高齢者に対する差別や偏見の有無をみると、「大いにあると思う」(4.6%)と「少しはあると思う」(26.4%)を合わせた「あると思う(計)」が31.0%である。

同居形態別にみると、一人暮らしでは「大いにあると思う」(4.9%)と「少しはあると思う」(24.5%)を合わせた「あると思う(計)」が29.4%となり、夫婦世帯では「大いにあると思う」(4.5%)と「少しはあると思う」(27.5%)を合わせた「あると思う(計)」が32.0%となっている。

都市規模別にみると、「まったくないと思う」が町村で高い。

年齢階級別にみると、「あると思う(計)」が60~64歳で高く、「ないと思う(計)」は80歳以上で高い。

住居形態別にみると、「あると思う(計)」の割合は借家(計)で38.0%と高い。

表5 - 2 差別・偏見

( 続き )	総 数	あると思 う(計)			ないと思 う(計)			無回答
		大いにある と思う	少しはあ ると思う	ないと思 う(計)	あまりな いと思う	まったく ないと思 う		
【総 数】	2,203	31.0	4.6	26.4	68.3	43.6	24.7	0.6
【同居形態別】								
一人暮らし	812	29.4	4.9	24.5	70.1	44.1	26.0	0.5
夫婦世帯	1,391	32.0	4.5	27.5	67.3	43.3	24.0	0.7
【都市規模別】								
大都市	505	31.5	3.8	27.7	67.7	45.7	22.0	0.8
中都市	705	33.3	5.1	28.2	66.0	42.7	23.3	0.7
小都市	421	30.6	4.3	26.4	68.9	45.6	23.3	0.5
町 村	572	28.1	5.1	23.1	71.3	41.3	30.1	0.5
【性別】								
男	878	32.7	4.6	28.1	66.5	41.6	24.9	0.8
女	1,325	30.0	4.7	25.3	69.5	44.9	24.6	0.5
【年齢階級別】								
60 ~ 64歳	411	38.7	8.0	30.7	60.6	42.3	18.2	0.7
65 ~ 69歳	690	34.2	4.6	29.6	64.9	40.4	24.5	0.9
70 ~ 74歳	532	27.3	3.8	23.5	72.4	46.6	25.8	0.4
75 ~ 79歳	370	28.6	3.5	25.1	70.5	43.2	27.3	0.8
80歳 以上	200	19.0	2.0	17.0	81.0	49.5	31.5	0.0
【健康状態別】								
良 い	563	29.3	6.0	23.3	70.2	39.6	30.6	0.5
まあ良い	544	28.3	4.2	24.1	70.4	48.0	22.4	1.3
普 通	540	34.4	3.0	31.5	65.6	44.4	21.1	-
あまり良くない	451	32.2	4.7	27.5	67.2	43.2	23.9	0.7
良くない	99	31.3	7.1	24.2	67.7	38.4	29.3	1.0
【住居形態別】								
持家(計)	1,876	29.9	4.5	25.3	69.5	43.8	25.6	0.7
借家(計)	326	38.0	5.2	32.8	61.7	42.3	19.3	0.3
一戸建て(計)	1,902	30.3	4.4	25.9	69.1	43.5	25.6	0.6
集合住宅(計)	293	35.8	6.1	29.7	63.1	44.4	18.8	1.0

(3) 虐待行為の体験・見聞き

高齢者への肉体的、精神的、経済的な面などで不当な取扱いと思われる出来事を自ら体験又は実際に見たりしたことがあるかをみると、「よくある」と「ときどきある」を合わせた「ある(計)」は14.3%となっている。

表5-3 虐待行為の体験・見聞き

	総数	ある (計)	よくある	ときどき ある	ない	わからない
【総数】	2,203	14.3	1.9	12.4	81.3	4.4
【同居形態別】						
一人暮らし	812	13.7	2.0	11.7	80.7	5.7
夫婦世帯	1,391	14.7	1.8	12.9	81.7	3.6
【都市規模別】						
大都市	505	13.7	2.0	11.7	79.6	6.7
中都市	705	16.0	2.0	14.0	79.9	4.1
小都市	421	13.1	1.7	11.4	84.1	2.9
町 村	572	13.6	1.7	11.9	82.7	3.7
【性別】						
男	878	15.0	1.8	13.2	80.6	4.3
女	1,325	13.8	1.9	11.9	81.8	4.4
【年齢階級別】						
60～64歳	411	18.7	3.2	15.6	77.1	4.1
65～69歳	690	16.4	2.0	14.3	79.7	3.9
70～74歳	532	13.0	0.9	12.0	82.5	4.5
75～79歳	370	13.0	1.9	11.1	82.2	4.9
80歳以上	200	4.0	1.0	3.0	91.0	5.0
【健康状態別】						
良 い	563	14.2	2.7	11.5	83.7	2.1
まあ良 い	544	11.8	0.7	11.0	84.2	4.0
普 通	540	16.9	2.0	14.8	77.2	5.9
あまり良くない	451	13.5	1.6	12.0	81.2	5.3
良くない	99	16.2	4.0	12.1	77.8	6.1
【住居形態別】						
持家(計)	1,876	14.2	1.8	12.5	81.8	4.0
借家(計)	326	14.7	2.5	12.3	78.8	6.4
一戸建て(計)	1,902	14.5	1.8	12.7	81.7	3.8
集合住宅(計)	293	13.3	2.4	10.9	78.8	7.8

#### (4) 高齢期に大切なもの

高齢期に大切なものをみると、「健康」が 92.8%とほとんどの人があげている。次いで、「家族」が 57.4%、「所得・財産」が 35.0%、「趣味」が 32.7%、「友人」が 26.5%、「仕事」が 13.1%となっている。

同居形態別にみると、一人暮らしでは「健康」が 93.3%、「家族」が 40.8%、「所得・財産」が 35.0%、夫婦世帯では「健康」が 92.5%、「家族」が 67.1%、「所得・財産」が 35.0%となり、「家族」と「趣味」は一人暮らしより夫婦世帯に高く、「友人」は夫婦世帯より一人暮らしに高い。

都市規模別にみると、「所得・財産」は、大都市から小都市までの都市部で高い。健康状態別にみると、「友人」と「仕事」は良い人ほど高い。

住居形態別にみると、「家族」と「趣味」は持家（計）で高く、「所得・財産」と「仕事」は借家（計）で高い。

平成 6 年度の調査と比較すると、総数では「趣味」が 7.6 ポイント上昇、「所得・財産」が 6.7 ポイント上昇し、「友人」が 3.0 ポイント低下、「仕事」が 2.7 ポイント低下している。次に、一人暮らしでは「所得・財産」が 9.0 ポイント上昇、「趣味」が 5.4 ポイント上昇し、「友人」が 4.4 ポイント低下している。一方、夫婦世帯では「趣味」が 9.0 ポイント上昇、「所得・財産」が 5.3 ポイント上昇し、「仕事」が 3.5 ポイント低下、「健康」が 3.3 ポイント低下している。

表5 - 4 高齢期に大切なもの

	総数	仕事	所得・ 財産	健康	趣味	家族	友人	その他	わから ない	回答計
【総数】	2,203	13.1	35.0	92.8	32.7	57.4	26.5	0.8	0.8	259.1
【同居形態別】										
一人暮らし	812	11.9	35.0	93.3	29.7	40.8	34.6	0.9	1.4	247.5
夫婦世帯	1,391	13.8	35.0	92.5	34.5	67.1	21.7	0.7	0.5	265.9
【都市規模別】										
大都市	505	13.3	39.8	91.5	32.9	54.1	23.2	0.4	1.4	256.4
中都市	705	11.9	37.4	93.3	34.6	57.4	28.2	0.7	1.0	264.7
小都市	421	12.4	39.2	95.2	31.4	59.1	27.6	1.0	0.2	266.0
町 村	572	15.0	24.7	91.6	31.3	59.1	26.4	1.0	0.5	249.7
【性別】										
男	878	19.2	33.8	91.5	36.8	58.5	20.5	0.9	0.5	261.7
女	1,325	9.1	35.8	93.7	30.0	56.7	30.4	0.7	1.1	257.4
【年齢階級別】										
60～64歳	411	17.5	37.7	92.9	29.7	62.3	28.5	0.2	0.5	269.3
65～69歳	690	16.5	36.4	93.8	34.1	59.6	24.8	0.3	0.3	265.7
70～74歳	532	10.0	34.2	91.7	37.0	56.4	25.9	1.1	0.9	257.3
75～79歳	370	9.7	31.6	91.6	31.4	52.7	27.6	1.1	2.2	247.8
80歳以上	200	7.0	33.0	94.5	25.5	51.5	27.5	2.0	0.5	241.5
【健康状態別】										
良い	563	16.0	32.7	93.1	34.3	59.5	27.9	0.4	0.5	264.3
まあ良い	544	14.9	33.6	93.9	35.5	58.5	28.1	0.6	0.6	265.6
普通	540	12.0	35.2	92.6	35.6	55.7	25.2	1.1	0.9	258.3
あまり良くない	451	10.2	39.7	92.7	27.3	56.8	25.9	1.3	1.1	255.0
良くない	99	5.1	33.3	88.9	19.2	52.5	17.2	0.0	2.0	218.2
【住居形態別】										
持家(計)	1,876	12.4	34.3	92.6	33.8	59.8	26.2	0.7	0.7	260.6
借家(計)	326	17.5	39.0	94.2	26.4	43.6	27.9	0.9	1.5	250.9
一戸建て(計)	1,902	12.7	34.9	93.3	33.3	59.4	26.3	0.8	0.6	261.3
集合住宅(計)	293	15.4	35.8	90.4	28.7	44.4	27.3	0.7	2.0	244.7
【平成6年度調査比較】										
平成11年度(平成6年度対応総数)	1,910	12.0	34.5	92.8	33.0	57.3	26.2	0.9	0.8	257.6
平成11年度(平成6年度対応一人暮らし)	699	10.6	34.5	93.6	30.8	39.9	34.8	1.0	1.6	246.6
平成11年度(平成6年度対応夫婦世帯)	1,211	12.8	34.4	92.4	34.4	67.4	21.3	0.8	0.4	263.9
平成6年度総数	2,089	14.7	27.8	95.0	25.4	57.9	29.2	0.9	1.1	252.0
平成6年度一人暮らし	748	12.0	25.5	93.9	25.4	41.2	39.2	1.5	1.7	240.4
平成6年度夫婦世帯	1,341	16.3	29.1	95.7	25.4	67.2	23.7	0.5	0.7	258.5

## (5) 高齢期の生活の心構え

高齢期の生活の心構えをみると、「気持ちを若々しく保つ」が 53.2%と半数強を占め、「年相応に過ごす」が 21.2%、「自分の考えで主体的に生きる」が 13.6%、「家族など周りの人にあわせる」が 8.9%となっている。

同居形態別にみると、「気持ちを若々しく保つ」が一人暮らしより夫婦世帯でやや高く、「自分の考えで主体的に生きる」が夫婦世帯より一人暮らしでやや高い。

都市規模別にみると、「気持ちを若々しく保つ」は中都市から町村で高く、「自分の考えで主体的に生きる」は大都市で高い。

性別でみると、「年相応に過ごす」は女性より男性で高く、「家族など周りの人にあわせる」は男性より女性で高い。

職業別にみると、「気持ちを若々しく保つ」は有職で高く、「年相応に過ごす」は無職で高い。

住居形態別にみると、「気持ちを若々しく保つ」は借家(計)で高い。

平成6年度の調査と比較すると、「気持ちを若々しく保つ」が総数では 8.2 ポイント上昇し、一人暮らしで 9.2 ポイント上昇、夫婦世帯で 7.7 ポイント上昇している。一方、「年相応に過ごす」は総数で 3.6 ポイント低下し、一人暮らしで 4.1 ポイント現象、夫婦世帯で 3.5 ポイント低下しており、「自分の考えで主体的に生きる」が一人暮らしで 4.0 ポイント低下し、「家族など周りの人にあわせる」が夫婦世帯で 2.4 ポイント低下している。

表5 - 5 高齢期の生活の心構え

	総 数	気持ちを 若々しく 保つ	年相応に 過ごす	自分の考 えで主体 的に生き る	家族など 周りの人 にあわせ る	その他	わからな い
【総 数】	2,203	53.2	21.2	13.6	8.9	0.5	2.6
【同居形態別】							
一人暮らし	812	51.1	20.0	15.9	8.0	0.6	4.4
夫婦世帯	1,391	54.5	21.9	12.2	9.4	0.5	1.5
【都市規模別】							
大都市	505	49.9	23.4	16.4	7.7	0.2	2.4
中都市	705	55.3	19.6	13.0	9.2	0.0	2.8
小都市	421	54.6	24.0	11.2	8.1	0.7	1.4
町 村	572	52.6	19.1	13.5	10.1	1.4	3.3
【性別】							
男	878	52.3	23.8	14.0	7.4	0.6	1.9
女	1,325	53.9	19.4	13.3	9.9	0.5	3.0
【年齢階級別】							
60～64歳	411	59.1	18.7	12.9	7.3	0.2	1.7
65～69歳	690	55.7	20.0	13.6	8.4	0.4	1.9
70～74歳	532	53.4	22.7	12.8	8.8	0.8	1.5
75～79歳	370	49.7	23.0	14.6	8.6	0.3	3.8
80歳以上	200	39.0	22.5	15.0	14.5	1.5	7.5
【健康状態別】							
良 い	563	59.9	16.3	13.9	7.8	0.5	1.6
まあ良い	544	57.0	20.8	13.6	7.2	0.6	0.9
普 通	540	52.0	23.0	15.2	7.2	0.6	2.0
あまり良くない	451	45.9	24.2	12.0	12.9	0.7	4.4
良くない	99	33.3	28.3	10.1	16.2	-	12.1
【職業別】							
有 職	610	57.9	18.2	15.2	6.9	0.5	1.3
無 職	1,590	51.4	22.3	13.0	9.7	0.6	3.0
【住居形態別】							
持家(計)	1,876	52.7	21.2	14.1	9.5	0.5	2.0
借家(計)	326	56.4	21.2	10.7	5.2	0.6	5.8
一戸建て(計)	1,902	53.6	20.8	13.6	9.4	0.6	2.0
集合住宅(計)	293	50.2	23.5	14.0	5.5	0.3	6.5
【平成6年度調査比較】							
平成11年度(平成6年度対応総数)	1,910	52.4	21.4	13.7	9.2	0.6	2.8
平成11年度(平成6年度対応一人暮らし)	699	50.2	20.0	16.2	8.2	0.6	4.9
平成11年度(平成6年度対応夫婦世帯)	1,211	53.6	22.1	12.3	9.8	0.6	1.6
平成6年度総数	2,089	44.2	25.0	15.6	11.5	0.9	2.8
平成6年度一人暮らし	748	41.0	24.1	20.2	10.3	1.1	3.3
平成6年度夫婦世帯	1,341	45.9	25.6	13.0	12.2	0.8	2.5

(6) 高齢社会のイメージ

高齢社会のイメージをみると、「明るい社会」と「どちらかといえば明るい社会」を合わせた「明るい社会(計)」が46.8%を占め、「暗い社会」と「どちらかといえば暗い社会」を合わせた「暗い社会(計)」が33.8%となっている。

同居形態別にみると、「明るい社会(計)」が夫婦世帯で高い。

年齢階級別にみると、「暗い社会(計)」の割合が60～64歳で高くなっている。

健康状態別にみると、健康状態の良い人ほど「明るい社会(計)」の割合が高くなっている。

平成6年度の調査と比較すると、「明るい社会」が総数で5.3ポイント低下し、一人暮らしで10.4ポイント低下、夫婦世帯で2.5ポイント低下している。一方、「どちらかといえば暗い社会」が総数で9.2ポイント上昇し、一人暮らしで9.7ポイント上昇、夫婦世帯で8.9ポイント上昇している

表5-6 高齢社会のイメージ

	総数	明るい社会			暗い社会			どちらともいえない	わからない
		会(計)	明るい社会	どちらかといえば明るい社会	(計)	どちらかといえば暗い社会	暗い社会		
【総数】	2,203	46.8	21.0	25.7	33.8	26.2	7.6	12.5	6.9
【同居形態別】									
一人暮らし	812	42.4	18.3	24.0	34.0	24.5	9.5	15.1	8.5
夫婦世帯	1,391	49.3	22.6	26.7	33.6	27.2	6.5	11.0	6.0
【都市規模別】									
大都市	505	40.6	16.6	24.0	37.4	26.7	10.7	14.5	7.5
中都市	705	49.2	24.8	24.4	33.6	26.7	7.0	11.6	5.5
小都市	421	48.9	22.6	26.4	34.0	26.1	7.8	10.2	6.9
町村	572	47.6	19.1	28.5	30.6	25.2	5.4	13.6	8.2
【性別】									
男	878	50.2	22.8	27.4	31.3	23.8	7.5	12.3	6.2
女	1,325	44.5	19.8	24.6	35.4	27.8	7.6	12.7	7.5
【年齢階級別】									
60～64歳	411	44.8	19.5	25.3	42.3	31.1	11.2	8.5	4.4
65～69歳	690	48.8	21.2	27.7	33.8	26.8	7.0	11.7	5.7
70～74歳	532	48.5	22.4	26.1	31.8	25.8	6.0	14.3	5.5
75～79歳	370	43.8	20.0	23.8	32.2	24.1	8.1	15.7	8.4
80歳以上	200	44.5	22.0	22.5	24.5	19.0	5.5	13.0	18.0
【健康状態別】									
良い	563	50.4	24.2	26.3	33.2	25.4	7.8	12.4	3.9
まあ良い	544	49.6	22.2	27.4	30.3	23.5	6.8	12.9	7.2
普通	540	46.7	19.4	27.2	36.5	29.8	6.7	10.4	6.5
あまり良くない	451	42.6	18.8	23.7	34.4	26.4	8.0	13.7	9.3
良くない	99	28.3	15.2	13.1	39.4	25.3	14.1	18.2	14.1
【住居形態別】									
持家(計)	1,876	47.0	20.9	26.0	33.5	26.4	7.0	13.1	6.5
借家(計)	326	45.4	21.2	24.2	35.6	24.8	10.7	9.5	9.5
一戸建て(計)	1,902	47.3	21.4	25.9	33.2	26.2	7.0	12.8	6.6
集合住宅(計)	293	42.7	17.4	25.3	37.5	26.3	11.3	10.6	9.2
【平成6年度調査比較】									
平成11年度(平成6年度対応総数)	1,910	46.9	21.2	25.7	32.8	26.0	6.9	13.0	7.3
平成11年度(平成6年度対応一人暮らし)	699	41.9	17.7	24.2	32.9	24.3	8.6	15.9	9.3
平成11年度(平成6年度対応夫婦世帯)	1,211	49.7	23.1	26.6	32.8	26.9	5.9	11.4	6.1
平成6年度総数	2,089	49.9	26.5	23.4	20.9	16.8	4.1	22.7	6.5
平成6年度一人暮らし	748	46.4	28.1	18.3	18.7	14.6	4.1	26.7	8.2
平成6年度夫婦世帯	1,341	51.8	25.6	26.2	22.1	18.0	4.1	20.5	5.6



## (7) 高齢社会の課題

高齢社会到来に対応するため、どのような施策が重要だと思いかをみると、「公的年金」が53.7%、「老人医療」が52.6%と半数を上回り高く、次いで「介護サービスの充実」が48.0%、「生涯を通じた健康づくり」が22.6%となっている。

同居形態別にみると、「介護サービスの充実」が夫婦世帯より一人暮らしで高く、「生涯を通じた健康づくり」・「高齢者雇用」・「子供が健やかに生まれ育つための環境づくり」は一人暮らしより夫婦世帯で高い。

健康状態別にみると、「老人医療」と「介護サービスの充実」は良くない人ほど高く、「生涯を通じた健康づくり」・「子供が健やかに生まれ育つための環境づくり」・「社会参加活動の促進」は良い人ほど高い。

住居形態別にみると、「高齢者雇用」と「住宅対策」は借家（計）で高く、「子供が健やかに生まれ育つための環境づくり」は持家（計）で高くなっている。

表5 - 7 高齢社会の課題

	総数	高齢者雇用	公的年金	生涯を通じた健康づくり	老人医療	介護サービスの充実	生涯学習	社会参加活動の促進	住宅対策
【総数】	2,203	16.1	53.7	22.6	52.6	48.0	6.4	6.0	4.9
【同居形態別】									
一人暮らし	812	12.1	53.3	18.5	52.0	50.0	5.4	5.0	5.9
夫婦世帯	1,391	18.5	53.8	25.0	52.9	46.8	7.0	6.6	4.2
【都市規模別】									
大都市	505	18.0	53.1	17.4	52.5	46.1	7.7	6.3	8.3
中都市	705	16.5	52.8	23.7	52.2	48.1	7.1	7.1	4.8
小都市	421	17.1	58.2	23.8	58.9	47.7	5.9	5.0	3.3
町 村	572	13.3	51.9	25.0	48.4	49.7	4.9	5.2	3.0
【性別】									
男	878	20.0	56.3	22.8	54.6	45.4	6.9	7.7	3.9
女	1,325	13.5	51.9	22.5	51.2	49.7	6.1	4.9	5.5
【年齢階級別】									
60～64歳	411	24.1	53.0	21.7	47.9	47.9	6.3	9.0	7.3
65～69歳	690	19.6	55.4	23.6	54.5	50.1	7.2	5.7	4.9
70～74歳	532	11.3	53.8	24.8	53.9	47.9	7.9	6.8	5.3
75～79歳	370	10.8	52.4	23.0	54.3	44.6	5.1	3.5	3.2
80歳以上	200	10.5	51.0	14.5	48.5	47.0	2.5	4.0	1.5
【健康状態別】									
良 い	563	19.5	51.7	25.4	49.2	43.2	8.3	8.0	4.1
まあ良 い	544	18.0	56.3	23.0	50.2	45.4	7.4	6.4	3.9
普 通	540	16.7	55.4	22.6	53.5	50.4	7.0	5.2	5.6
あまり良くない	451	9.8	53.0	20.2	57.2	52.3	2.9	4.7	5.1
良くない	99	12.1	43.4	17.2	57.6	57.6	4.0	2.0	10.1
【住居形態別】									
持家(計)	1,876	14.8	53.6	23.7	52.3	48.4	6.6	6.3	2.6
借家(計)	326	23.6	54.3	16.6	54.0	45.7	5.8	4.6	17.8
一戸建て(計)	1,902	15.6	54.1	23.4	53.0	48.2	6.6	6.0	3.3
集合住宅(計)	293	19.8	51.5	17.1	49.8	47.4	5.5	5.8	15.0

( 続き )	高齢者に 配慮した まちづく り	災害対策	交通安全 対策	子供が健 やかに育 つ環境づ くり	その他	わからな い	回答計
【総 数】	17.7	2.7	4.4	11.7	1.2	6.2	254.2
【同居形態別】							
一人暮らし	16.4	3.0	4.1	8.4	1.1	8.5	243.6
夫婦世帯	18.5	2.6	4.6	13.7	1.2	4.9	260.5
【都市規模別】							
大都市	16.2	3.0	2.6	11.9	1.4	6.5	251.1
中都市	17.7	3.0	5.1	15.5	0.3	5.5	259.3
小都市	19.7	2.4	4.0	8.1	0.5	5.5	260.1
町 村	17.7	2.4	5.4	9.6	2.6	7.3	246.5
【性別】							
男	17.4	3.1	4.1	10.9	1.6	4.7	259.5
女	18.0	2.5	4.6	12.2	0.9	7.2	250.8
【年齢階級別】							
60～ 64歳	20.2	2.7	3.2	17.0	0.7	4.6	265.7
65～ 69歳	17.5	3.6	5.4	11.2	0.6	3.9	263.2
70～ 74歳	19.4	2.6	4.3	9.8	1.5	5.3	254.5
75～ 79歳	16.5	1.4	4.3	11.1	0.8	9.5	240.5
80歳 以上	11.5	2.5	4.0	9.0	4.0	14.0	224.5
【健康状態別】							
良 い	18.8	2.1	5.2	15.6	1.1	4.6	256.8
まあ良い	15.3	2.6	4.8	13.6	1.3	5.9	253.9
普 通	18.9	2.2	3.0	10.0	1.1	6.3	257.8
あまり良くない	18.4	4.0	4.2	7.3	1.1	8.2	248.3
良くない	15.2	4.0	5.1	8.1	2.0	8.1	246.5
【住居形態別】							
持家(計)	18.1	2.8	4.6	12.5	1.1	6.3	253.8
借家(計)	15.6	2.5	2.8	7.1	1.5	5.5	257.4
一戸建て(計)	18.2	2.7	4.5	12.4	1.1	6.1	255.3
集合住宅(計)	14.3	2.7	3.4	7.8	1.7	6.8	248.8